

PDCA

主要事業名

J R武豊線連続立体交差化事業

部課名

建設部 市街地整備課

No.

25-1

担当

安田

内線

454

P

総合計画との関係性と予算根拠

総合計画：4 - 2 - 1 単位施策：市街地
全体事業期間：平成 24 年度 ～ 令和9 年度 全体事業費等：21,170,000 千円
会計一般会計歳出科目 07.05.01.02.51
3 か年実施計画（当該年度事業費等）：781,200 千円

事業概要等

事業概要：
J R武豊線を高架化し、9か所の踏切を除却することにより、12か所の交差道路を整備する。また、鉄道沿線に側道6路線を整備する。このことにより、東西交通の円滑化、駅へのアクセス向上及び沿線環境の保全を図る。

事業目的：J R武豊線の高架化を実施し、交差道路、側道を整備することにより、東西の円滑化と地域の利便性の向上を図る。

事業内容：東西交通の円滑化や一体的な市街地の形成を図るため、JR武豊線高架下空間活用検討、道路改良等を行う。

問題点・課題等：J R武豊線の高架化と側道整備は密接に関連した事業であり、愛知県と連携してJ R東海との調整や高架工事を進めていく必要がある。

予算額

569,334 千円

財源内訳

市費114,979 千円
国費39,927 千円
県支出金16,328 千円
地方債398,100 千円
その他0 千円

主要事業とする理由

J R武豊線を高架化し、交差道路及び側道を整備することで、鉄道により分断された中心市街地の一体化を図るため。

得られる成果

東西交通の円滑化、地域間の交通便利性の向上が図られ、中心市街地の一体的なまちづくりにつながる。

目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位
事業進捗率	実績値	—	40.5	—	%
	目標値	—	55.9	64.0	%
	実績値				
	目標値				
	実績値				
	目標値				

D

得られた成果と実績値

決算額

612,360 千円
(うち繰越分35,904千円)

得られた成果

令和3年度中に側道用地対象の3件について用地取得をすることができた。また、高架本体工事に向けて、J R半田駅の仮駅舎が供用開始された。

成果指標		令和3年度	単位
事業進捗率	実績値	47.3	%
	目標値	64.0	%

C

課題の整理

C

事業の評価・課題

高架側道整備事業については、側道用地取得率100%を目指し用地取得を進め、3件の用地取得をすることができた。用地取得を完了するため、粘り強く交渉を続け、合意を得る必要がある。また、高架下空間活用については、基礎調査として市民及び事業者等に対してアンケート調査を実施し、ニーズ等の確認をした。引き続き事業を実施するため、国の交付金など事業費を確保する必要がある。

A

今後の課題の解決に向けた方向性

拡充推進

今後の事業の方向性

高架側道の整備に支障となる用地取得を完了するとともに、高架本体工事の着手に伴い必要となる仮設道路の整備を行う。また、高架下空間や鉄道残地の活用方法について、庁内関係各課とのプロジェクトチームにより、事業手法の検討や事業者へのヒアリング調査等を実施し整備計画を策定する。

必要性		有効性		効率性	
①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	—
③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない		

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）

主要施策の成果報告書で活用